

ICTを活用しながら 自らの学習や生活を調整し 幸せ創造する大阪市の教育



桃山学院大学
木村明憲

<https://youtube.com/@kimuraedulabak-learning1598?feature=shared>

学校教育

教育とは、子どもたち・社会の未来の
幸せをつくる仕事

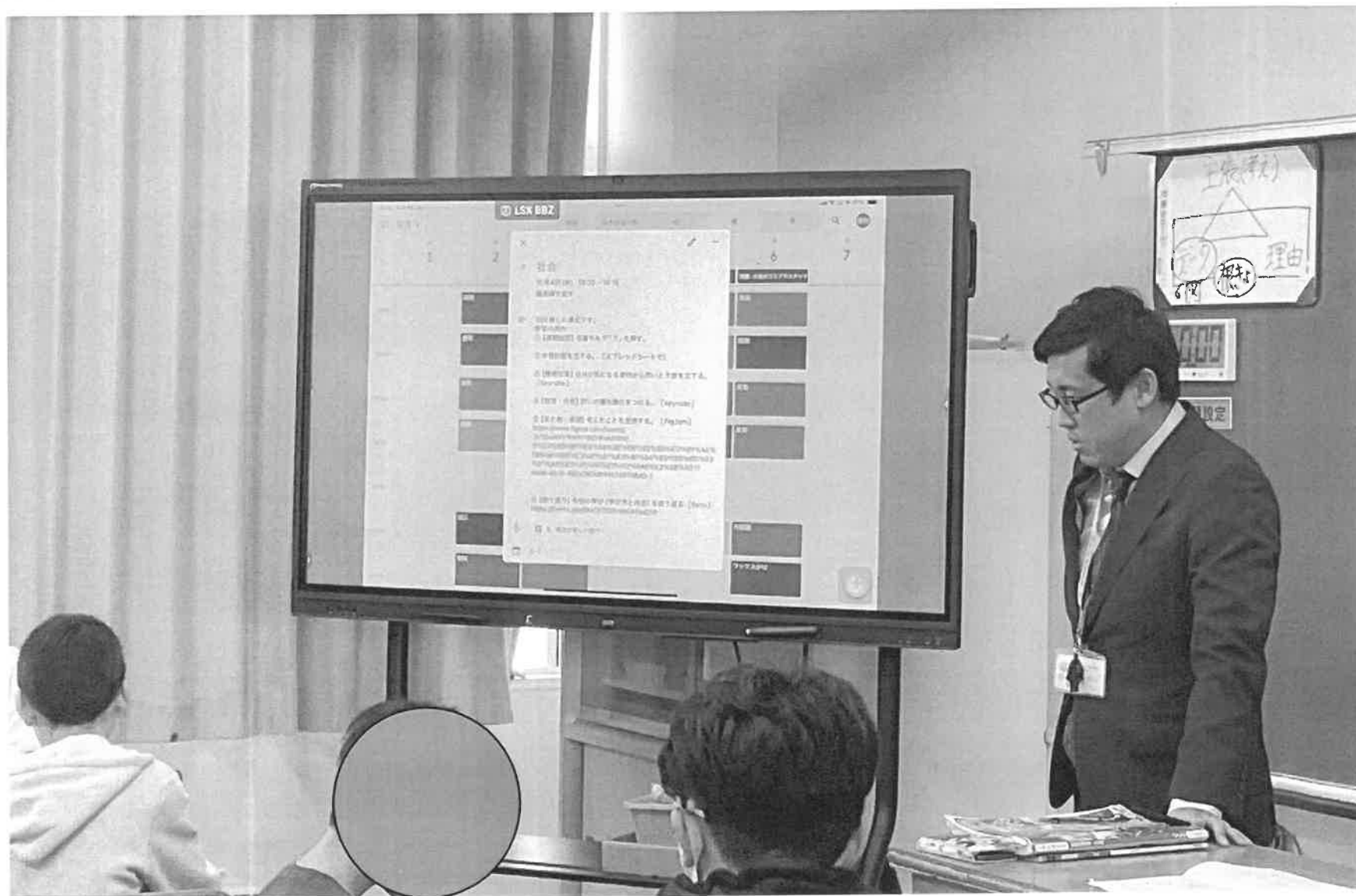
調整できるということは
自分で学習（仕事）を進められる
面白く・楽しく取り組める
人生を豊かにする
幸せになる（Wellbeing）

提 言

1. ICTを自らが幸せに生きるために活用する授業や学校生活の実現

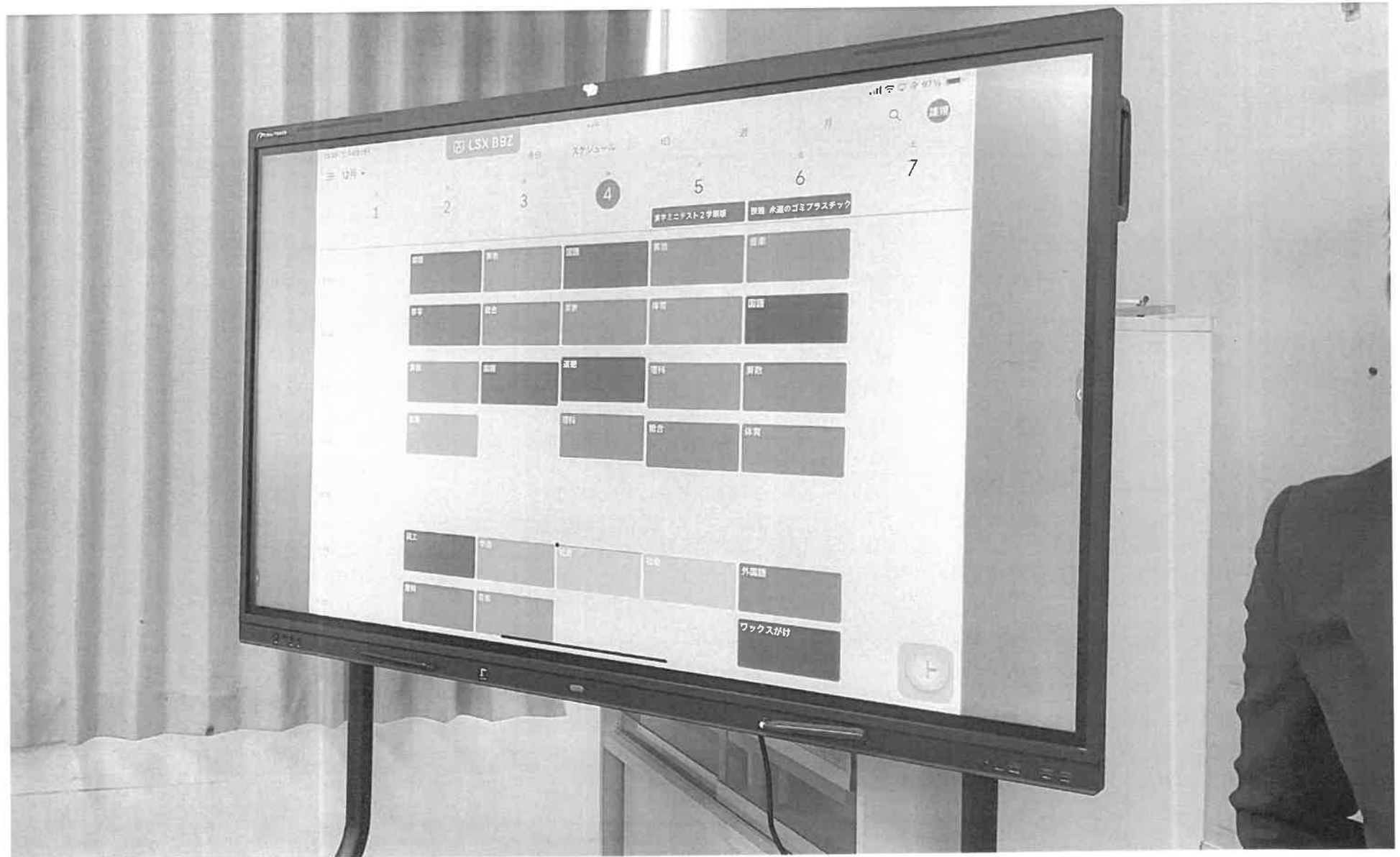
2. 児童生徒が自らと語り合いながら学習・生活する環境の構築

提言 1 ICTを自らが幸せに生きるために活用 する授業や学校生活の実現

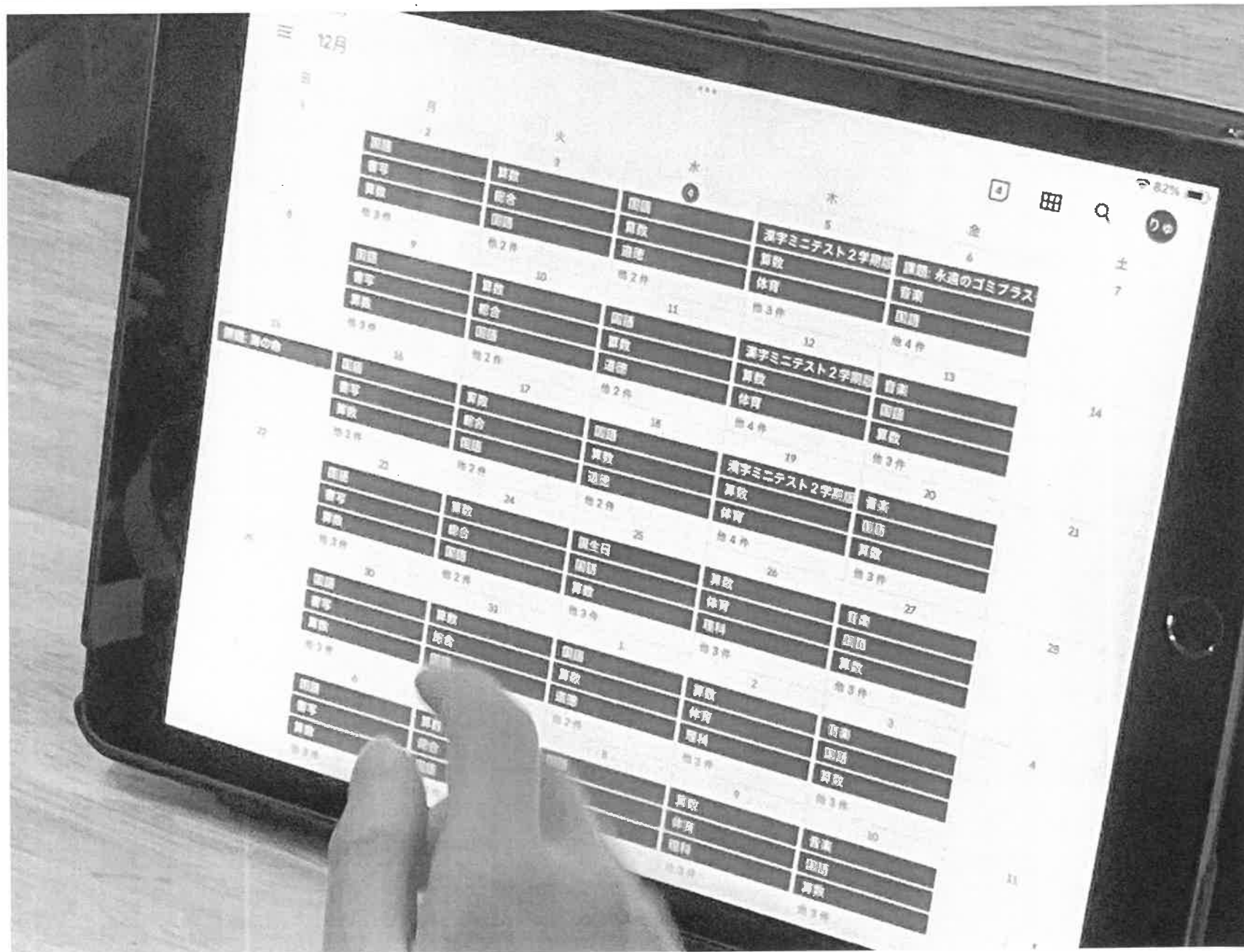


洲本市立洲本第三小学校

教師のカレンダーと児童のカレンダーが共有



児童のカレンダー



学習や生活の計画を立て見通しをもつ



学習の見通しを明確にする

■ 社会

12月4日(水) 13:30 - 14:15
毎週繰り返す

三

12/4 新しい単元です。
学習の流れ

1 【課題設定】 写真をみて「？」を探す。

2 学習計画を立てる。【スプレッドシートで】

3 【情報収集】 自分が気になる資料から問いと予想を立てる。
[keynote]

4 【整理・分析】 問いの優先順位をつける。[keynote]

5 【まとめ・表現】 考えたことを交流する。[FigJam]

<https://www.figma.com/board/3x10naWYYmR1YBEHFM4fOWj9%E3%80%81%E6%98%8E%E6%B2%B8%E3%81%AE%E6%96%B0%E3%81%97%E3%81%84%E5%98%BD%E3%81%A5%E3%81%8F%E3%82%8A%E2%88%92?node-id=5-4&t=7KDdIH67x9Tn8aQ-1>

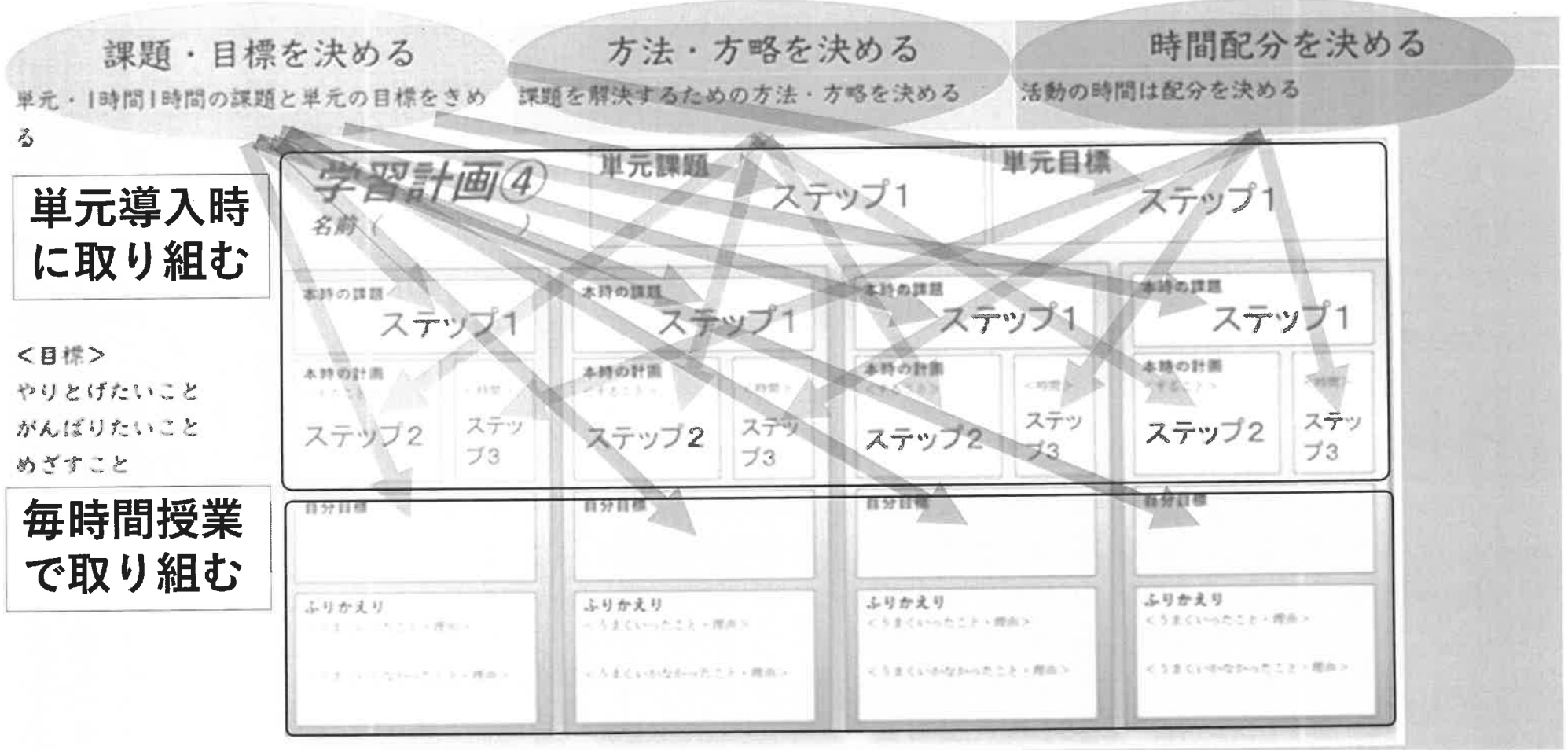
6 【振り返り】 今日の学び(学び方と内容)を振り返る。[form]

<https://forms.gle/9MCKPGPrMVckFmQ19>

■ 9 単元の新しい図

学習計画表の例：レギュレイトフォーム（木村 2020）

レギュレイトフォーム（学習計画の例）



<https://youtu.be/A14RvuUwu8A>

プロセス：計画を立案する

学習計画表を効果的に活用した実践

個人（こじん）用

第4学年 「チャレンジ高跳び」

目指す姿



目指す姿

高跳びの図



チャレンジ高跳びの決まり



単元計画

異地	近中距離	離切	助走
1. 異地	2. 近中距離	3. 離切	4. 助走

[illegible]

The collage consists of five distinct screenshots from Japanese technical publications:

- Top Left:** A screenshot showing a code editor or terminal window with the title "3時間目" (Lesson 3) at the top.
- Middle Left:** A page titled "第1章 Rubyのインストールと環境設定" (Chapter 1: Installing Ruby and Setting the Environment). It lists steps for installing Ruby and setting up the environment, including instructions for Windows and Mac OS X.
- Bottom Left:** A page titled "第2章 Railsのインストールと環境設定" (Chapter 2: Installing Rails and Setting the Environment). It provides instructions for installing Rails and configuring the development environment.
- Right Side:** A page titled "第3章 Railsアプリケーションの開発" (Chapter 3: Developing a Rails Application). It shows code snippets for creating a new Rails application and running it.

4 時間目

第1回 日本経済
第1回 日本経済の発展と未来

第2回 日本経済の発展と未来
第2回 日本経済の発展と未来

第3回 日本経済の発展と未来
第3回 日本経済の発展と未来

第4回 日本経済の発展と未来
第4回 日本経済の発展と未来

第5回 日本経済の発展と未来
第5回 日本経済の発展と未来

第6回 日本経済の発展と未来
第6回 日本経済の発展と未来

第7回 日本経済の発展と未来
第7回 日本経済の発展と未来

第8回 日本経済の発展と未来
第8回 日本経済の発展と未来

今日のまとめ **今日の課題** **今日の目標**

今日のまとめ **今日の課題** **今日の目標**

[illegible][illegible][illegible]

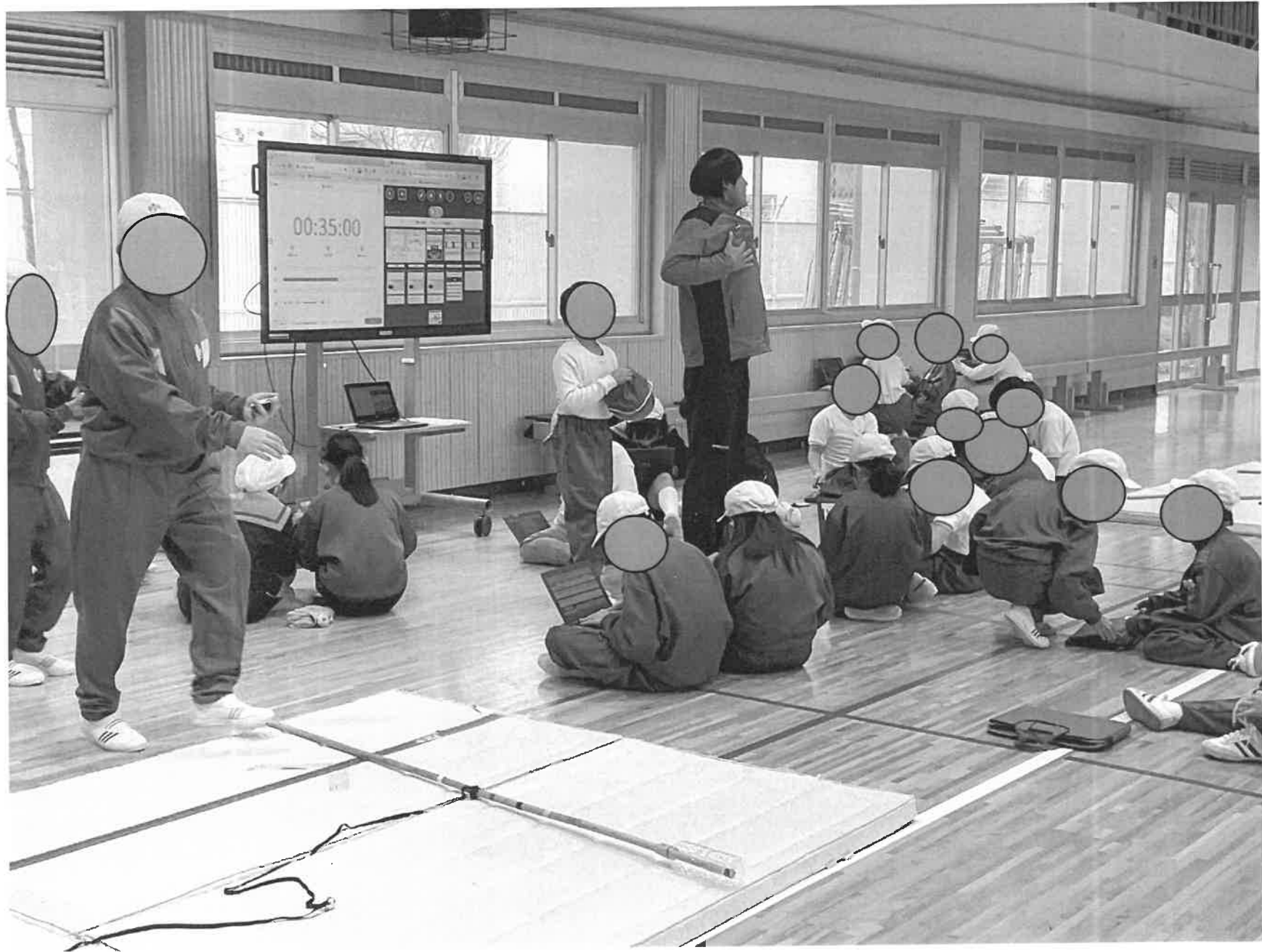
時間目

The image displays three sample pages from the textbook 'これからの体育' (Future Physical Education). The pages are numbered 10, 11, and 12. Page 10 shows a diagram of a person performing a physical activity. Page 11 shows a diagram of a person performing a physical activity. Page 12 shows a diagram of a person performing a physical activity.

小学校中学年 体育

10分間 (計画も)	単元の目標 高く跳ぶコツを見つけよう！		間目
	第5時間 ・後ろ	5分間 ⑤記録挑戦【今日の記録90 cm】	
25分間	自分な ・空中	5分間 今日のまとめ 予想は合っていたか？ ・少しあっていて、空中姿勢も大事だったけれど、踏み切る力も大切だということがわかった	今日の自分の動画
	練習力	お家で（曜日の○時から）	
5分間	⑤記録挑	①「解決できたり、上達したりしたこと」と「その理由（学習計画から探して書こう!）」 解決できたこと 90センチは飛べるようになった 理由 後ろ足があたってしまったので、後ろ足の練習をしたから 上達したりしたこと 後ろ足が少し、当たらなくなった 理由 昔の自分の動画をみて、そこを改善したから	今日の自分の動画
5分間	今日のま ・少し うこ	②「解決できなかったり、上達できなかったりしたこと」と「その理由」を書こう！ 解決できなかったこと 90センチ以降は全然飛べなかった 理由 踏み切る力？が足りなかったから 上達できなかったこと 空中姿勢がなっていなかった（全然手と足が上がっていなかった） 理由 踏み切る力が足りなかった	
		③次の時間に解決したい「悩みや課題」とそれを解決するための学習計画 次の時間には、下竹原さんのように、ロイター板などをつかって、踏み切りの練習をしたいです。	

小学校中学年 体育



小学校中学年 体育



小学校中学年 体育



学習活動と活動時間を決める



時間管理ができるように、タイマーを設定

小学校中学年 体育



計画をもとに，様々な方法で練習

小学校中学年 体育



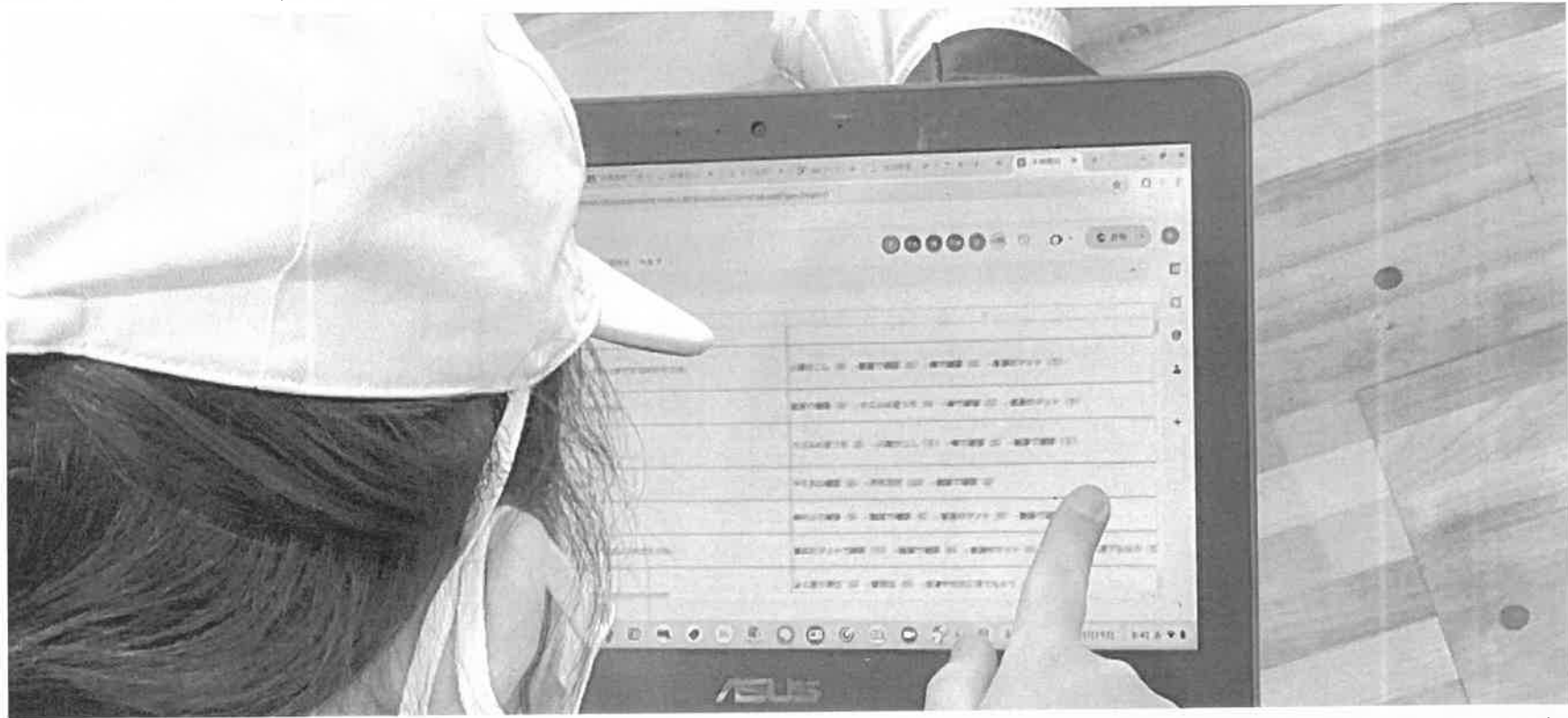
計画をもとに，様々な方法で練習



子どもが環境構成できる支援

小学校高学年 体育 マット運動

先生から生成AIからの練習の提案が送られてくる



事前に教師が子どもたちが書いている振り返りと目標、学習計画を生成AIに入れ、推奨する練習方法とそれらを組み合わせた計画をスプレッドシートにまとめている。

(13歳以下は活用できないため)



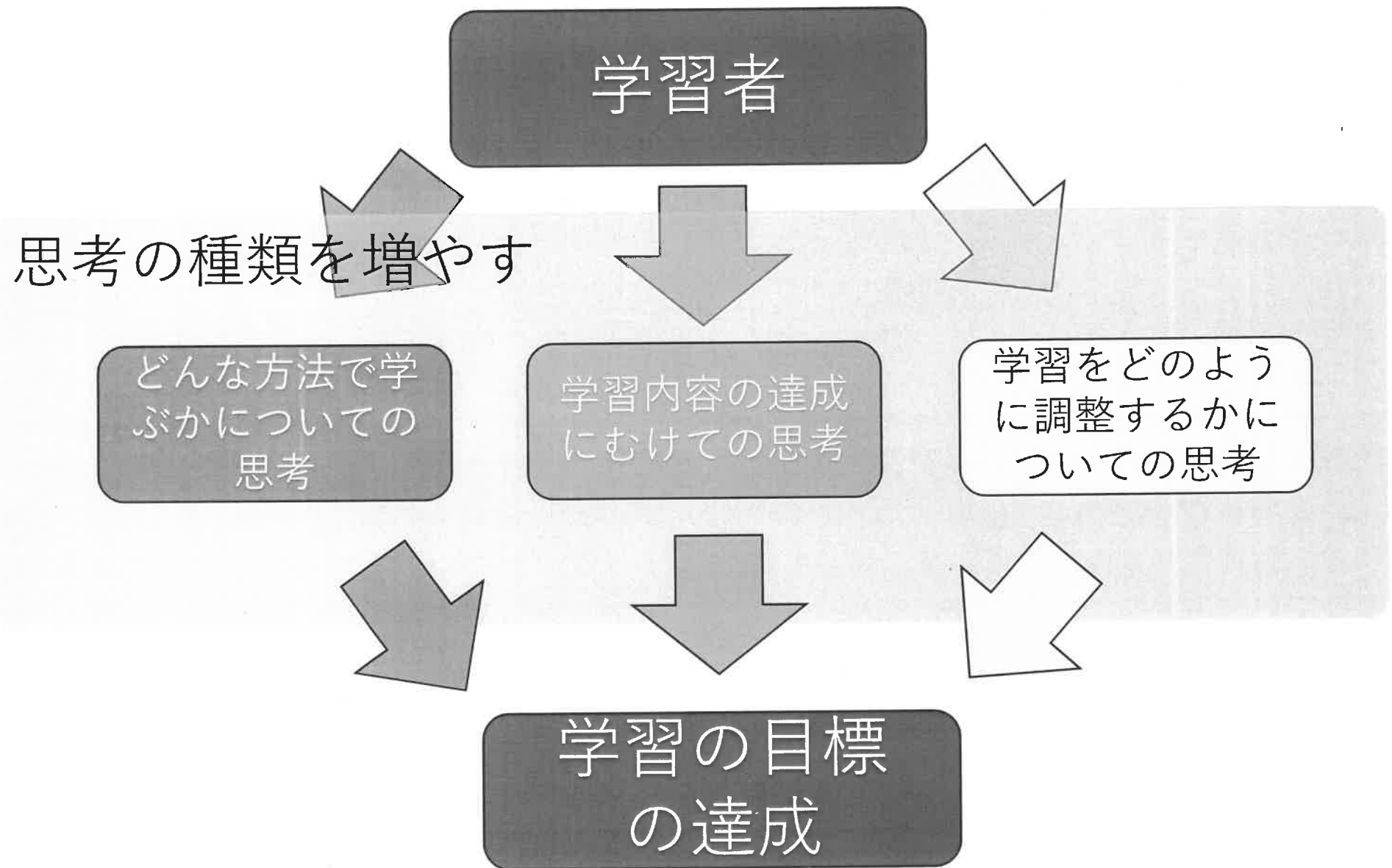
小学校高学年 体育 マット運動

		参考コメント
A 番号	1	川跳びこし ロングダートで半ひねりを成功させるには、助走のスピードと踏み切りのタイミングが重要です。腕を大きく振り上げて回転をサポートし、手をつくときに逆手を意識するとスムーズに回転できます。腰の位置を高く保ち、着地時に目線を前に向けることで安定感が増します。また、ジャンプの高さと腕の力のバランスを意識すると、より美しく仕上がります。
	2	
3	カエルの足	側転で腰を伸ばすには、踏み切る瞬間にしっかりと腕を振り上げ、体が沈まないようにすることが大切です。手をついた後も、腰を曲げずに高く保つことで、きれいな側転になります。また、着地の際に膝を軽く曲げることでバランスが取りやすくなります。スムーズな動きを意識しながら、体をまっすぐに使うことで、より美しいフォームを作ることができます。
	4	
5	川跳びこし	ロングダートで腰を伸ばすには、助走の勢いを活かしながら、体の軸を意識することが重要です。踏み切り時に体を丸めずに、腰を高い位置に保つことを意識しましょう。手をつく際には、肩から腰、足まで一直線になるイメージを持つことで、美しいフォームになります。着地後も腕を振り上げ、次の動きにスムーズにつなげることで、よりダイナミックな演技が可能になります。
	6	
8	動画で確認	側転で足をきれいに伸ばすには、最初の踏み切りが重要です。助走から踏み切る際に、膝をしっかり伸ばし、足を遠くに振り上げる意識を持ちましょう。手をついた後も、足を曲げずにできるだけまっすぐ保つことで、側転の見栄えがよくなります。着地の際には足を揃えて降りることで、より安定した動きになります。
	9	
10	カエルの足	側転で腰を高くするには、最初の踏み切りから体を高く持ち上げることが大切です。地面をしっかり蹴り、両腕を大きく振り上げることで腰の位置が高くなります。手をついた後も、腰が沈まないように意識し、お腹に力を入れて体のラインをまっすぐ保ちましょう。足を開きすぎず、コンパクトに動くことで、より安定した側
	11	

子どもたちはAIの提案を確認し、後半の活動内容や練習場所の環境を変更したり、時間配分を修正したりしていた。

っすぐ前に伸ばしましょう。手をついた後も、足を開きすぎず一直線に動かす。最後に、目線を一定に保つとバランスがとりやすくなります。

「学習者が主体性を発揮する」これからの学習



大阪市における優れた実践

4年生国語科 新聞づくり



大阪市立今里小学校

前時の学習をICTを用いて確認し，本時の見通しをもつ

B	C	D	E	F	G
Todoリスト					0/16 完了
日付	うまくいったこと	うまくいったこと (どうしてうまくいったのか)	うまくいかなかったこと	うまくいかなかったこと 理由(どうしてうまくいかなかったのか)	次の時間にやること
6月15日	気づいたことやひみつ、工夫などが分かるようになった。新聞づくりに大切なことをノートに書くことができた。	みんなの発表で、新聞作りに大切なことが分かるようになった。	気づいたことやひみつ、工夫を見つけること。	自分一人で考えても分からなかったから。	新聞のコツを思い出して、新聞づくりに挑戦してみたい。
6月15日					新聞を詳しく、わかりやすく書きたい。
6月15日					新聞づくりに大切なことをしっかり生かそう。
6月19日	新聞記者は、大変な仕事をしながら、新聞を書いている。メモを急いで書いている感じだった。	全国がうそのニュースにならないように、プロの人たちが間違いがないか、確認している。	新聞記者が言っていたことをメモすること。	新聞記者が言っていた言葉が、早くてついていけなかったから。	文だけでなく、写真もできるだけ多く入れたい。
6月19日					資料を見る。
6月20日	新聞のコツを見たりしながら、計画を立てること	斎田先生が用意してくれた、新聞のコツみたいなのを見ながら計画を立てれた。	文を、途中で、変えたりして、うまく進めなかった。	他の班の人を見て、途中でかえた方がいいと思ったから。	立てた計画をしっかり見ながら、新聞を作っていく。
5月20日					みんなが見たくなる新聞を作る。
6月21日	新聞で書くことや、どんな写真を貼るかななどを決めることができた。	班で相談して決めることができたから。	記事をあまり書けなかった。	時間が無かったから。初めの方はどんな記事にするかを迷っていて、うまくいかなかった。	記事の内容を考える。
5月21日					インタビューをする。
6月21日					新聞の記事を書く。
6月21日					写真を選ぶ。
6月21日					新聞のコツを見る。
6月21日					枠を整理する。
6月21日					他の人の新聞を見たりして、参考にしながら作る。
6月21日					書く。書く。
6月21日	新聞づくりの計画や、新聞のコツを、みながら、新聞を書くことができた。	計画を見ながら、したので、いつもより、記事を書くのが、早くできた。	新聞の記事をどのように、するか	記事をはじめに、どのように、するかを迷っていたから、早く	新聞の記事の読みかたを学ぶ。

前時の振り返りをTodoリストで管理し，次時へ

学習計画で学習の見通しを明確にする

の新聞記者になり、
今里小のみんなが読みたいくなる大人気の

	S	A
自分の学習計画（しょうがくけい）を目標（たけい）として、進め方（しんめかた）を決める（きめ）ことができる。	自分の目標を立てたり、学習の計画（けいかく）を考える（かんが）えることができる。	自分の目標を立てたり、学習の計画（けいかく）を考える（かんが）えることができる。
学習の中で、自分の学習内容を振り返り（ひざりかえり）、効果的（こうがてき）に学習するための方法（はうほう）や工夫（くわ）を考え（かんが）え、学習の進め方（しんめかた）について修正（しゆしん）することができる。	自分の学習内容を振り返り、学習するための方法（はうほう）や工夫（くわ）を考え（かんが）え、学習の進め方（しんめかた）について修正（しゆしん）することができる。	自分の学習内容を振り返り、学習するための方法（はうほう）や工夫（くわ）を考え（かんが）え、学習の進め方（しんめかた）について修正（しゆしん）することができる。
学習を振り返って、自分の学習態度（しうがくたいど）（とうたつど）を認識（にんし）し、新たに「うまくいったこと」（うまいいったこと）や「うまくいかなかったこと」（うまいいかなかったこと）について考え（かんが）えたりして、その原因（げんいん）について考え（かんが）えたりして、その改善（かいぜん）策（さく）を100%リスト（リスト）に書く（かく）ことができる。	学習を振り返って、新たに「うまくいったこと」（うまいいったこと）や「うまくいかなかったこと」（うまいいかなかったこと）について考え（かんが）え、次の学習（しうがく）に結び（む）ねることを100%リスト（リスト）に書く（かく）ことができる。	学習を振り返って、新たに「うまくいったこと」（うまいいったこと）や「うまくいかなかったこと」（うまいいかなかったこと）について考え（かんが）え、次の学習（しうがく）に結び（む）ねることを100%リスト（リスト）に書く（かく）ことができる。

フェーズ：見通す

学習計画の実践

みんなで新聞を作ろう

売れっ子の新聞記者になり、

めあて 今里小のみんなが読みたくなる大人気の新聞をつくらう

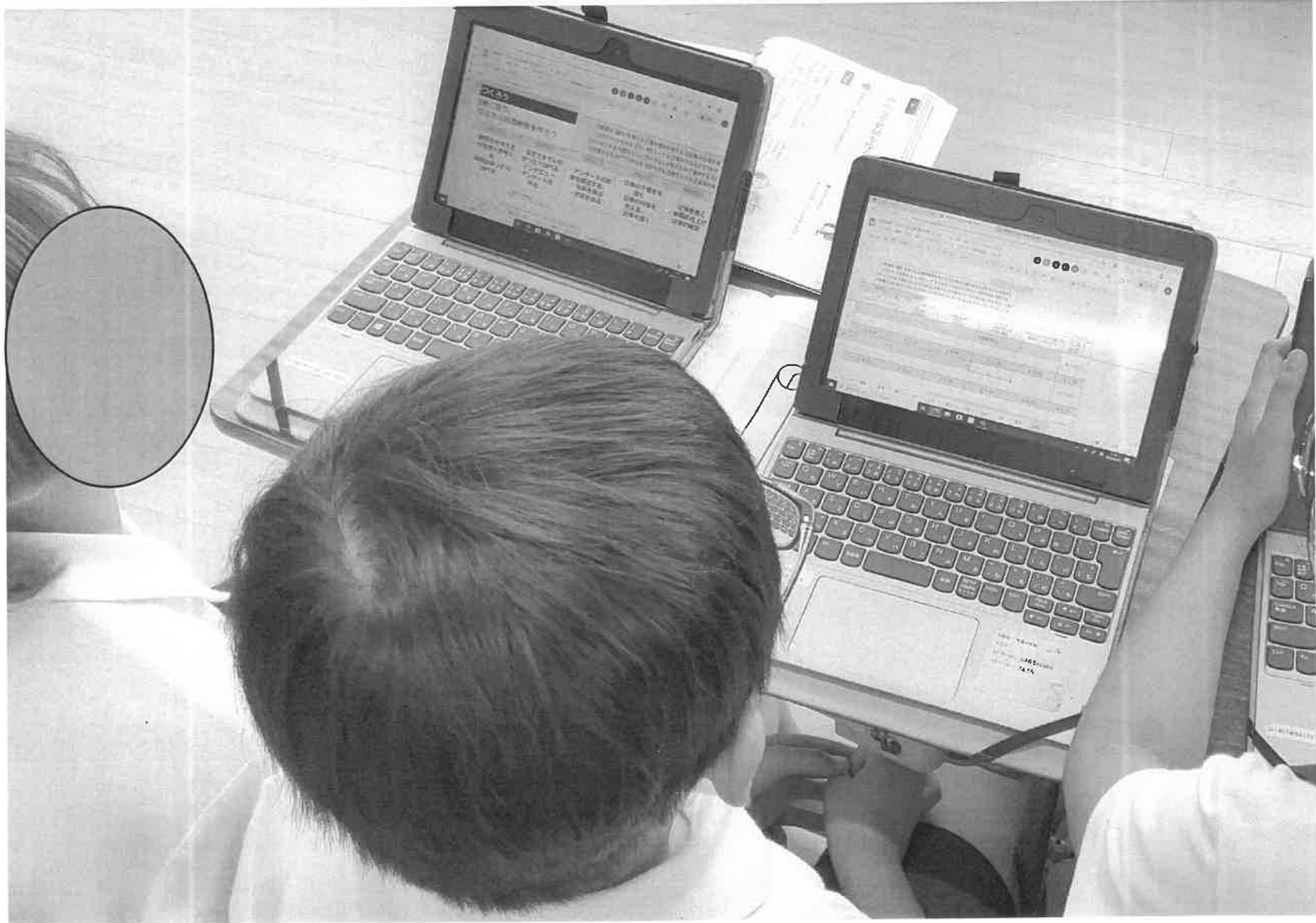
- ①新聞名(題字)を考える ②置き場所を考える ③記事の分量を考える ④取材方法を考
⑤アンケートを作る ⑥インタビューする ⑦集計する ⑧グラフを作る ⑨表を作る ⑩調
⑪さつえいする ⑫図をえらぶ ⑬小見出しを考える ⑭下書きする ⑮記事を書く ⑯小見出
⑰写真をはる ⑱グラフをはる ⑲図をはる ⑳表を入れる ㉑記事を確認する ㉒記事を修

1班の目標		3時間目		4時間目					
文字を短く書く 皆に気に入ってもらえる新聞をつくる		計画を立てる		新聞名を考える 小見出しを考える		インタビューを皆に聞く (アンケート)		グラフを作る 記事を書き書く	
						写真をはる (アンケート)		記事を作る	
学習時間	自分の目標	学習内容							
4時間目	目標	5分	10分	15分	20分	25分	30分	35分	
	計画をよく見て、計画	計画を立てる	記事の分量を考える	調べる	アンケートを作る	集計する	小見出しを書く	記事を確認する	図を
			小見出しを考える		インタビューする				図を
5時間目	目標	5分	10分	15分	20分	5分	10分	15分	35分
		計画を立てる					記事の分量を考える	調べる	
6時間目	目標	5分	10分	15分	20分	5分			35分
		計画を立てる					新聞名(題字)を考える		
							置き場所を考える	15分	
7時間目	目標	5分	10分	15分	20分	5分			35分
		計画を立てる					記事の分量を考える		
							取材方法を考える		
8時間目	目標	5分	10分	15分	20分	5分			35分
							アンケートを作る	15分	
							インタビューする		
	目標	5分	10分	15分	20分	5分			35分
							集計する		
							グラフを作る	15分	
	目標	5分	10分	15分	20分	5分			35分
							表を作る		
							調べる		
	目標	5分	10分	15分	20分	5分			35分
							さつえいする	15分	
							図を選ぶ		

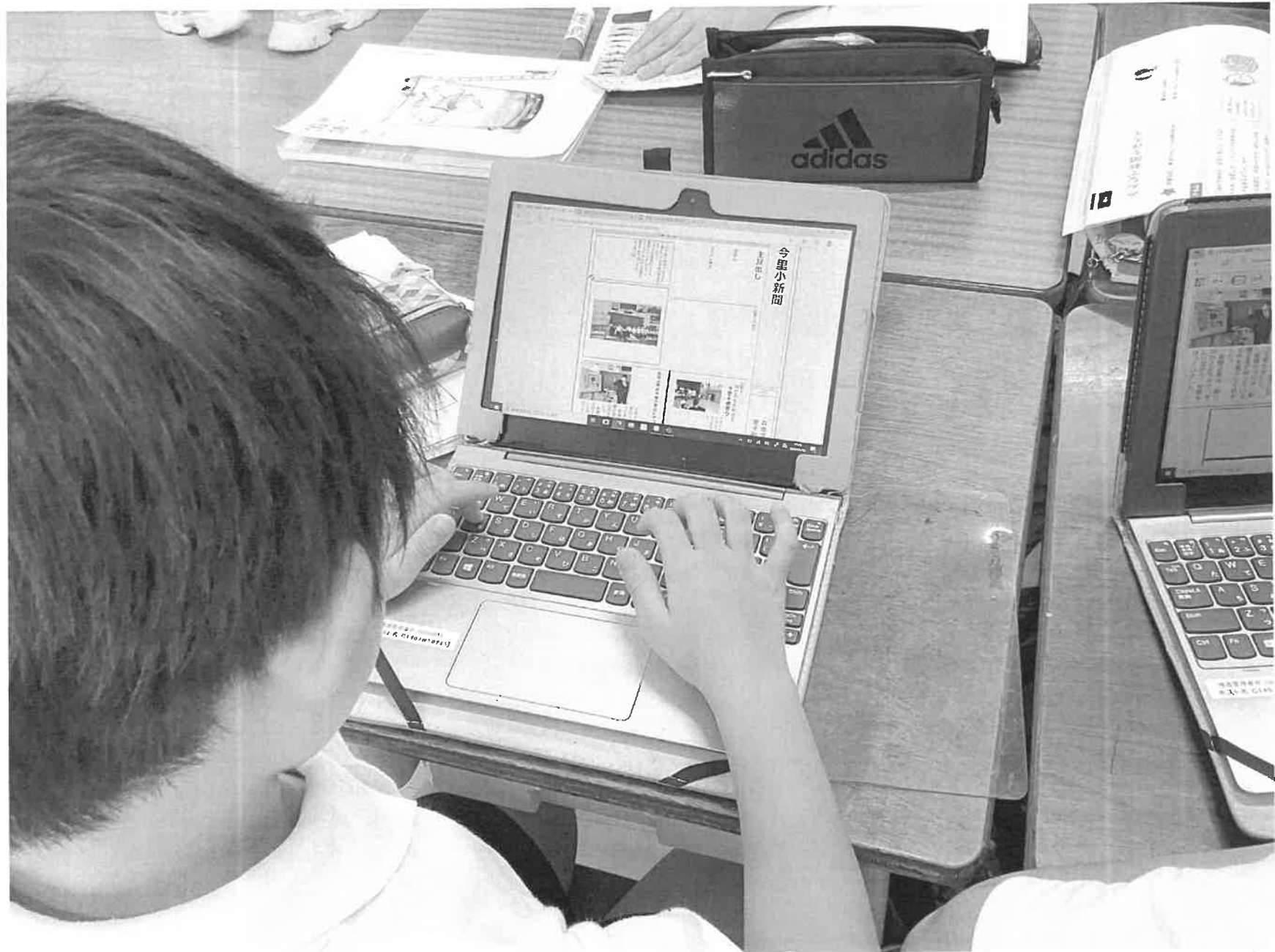
プロセス：計画を立案する

学習を進める子どもたちの様子

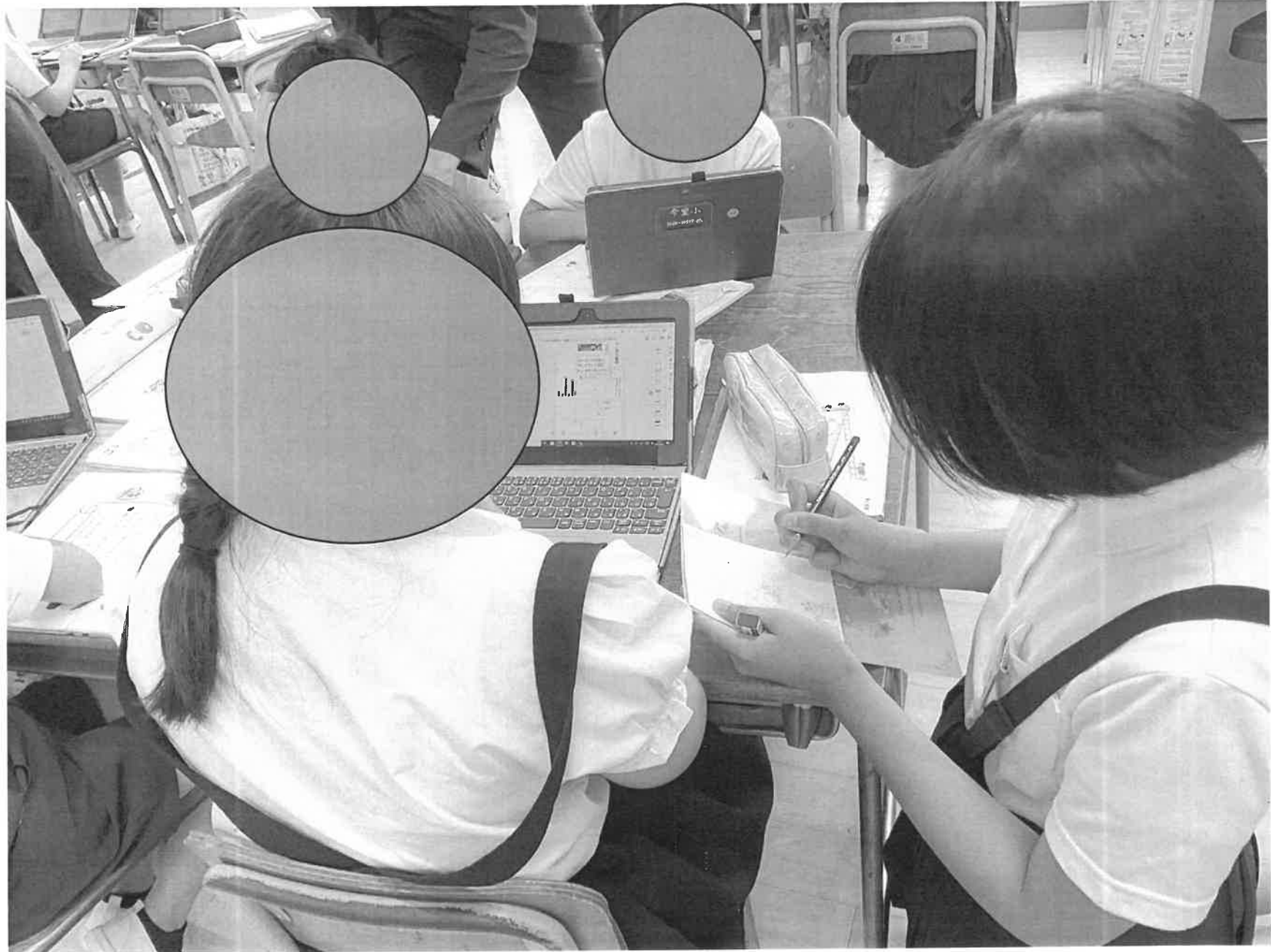
前時のTodoリストを確認し，本時の計画をつくる



計画を基に自由進捗で学びながら学習行動を調整する



計画を基に自由進捗で学びながら学習行動を調整する



確認タイムを設定し、メタ認知し、動機づけを高める

国語科「みんなで新聞を作ろう」

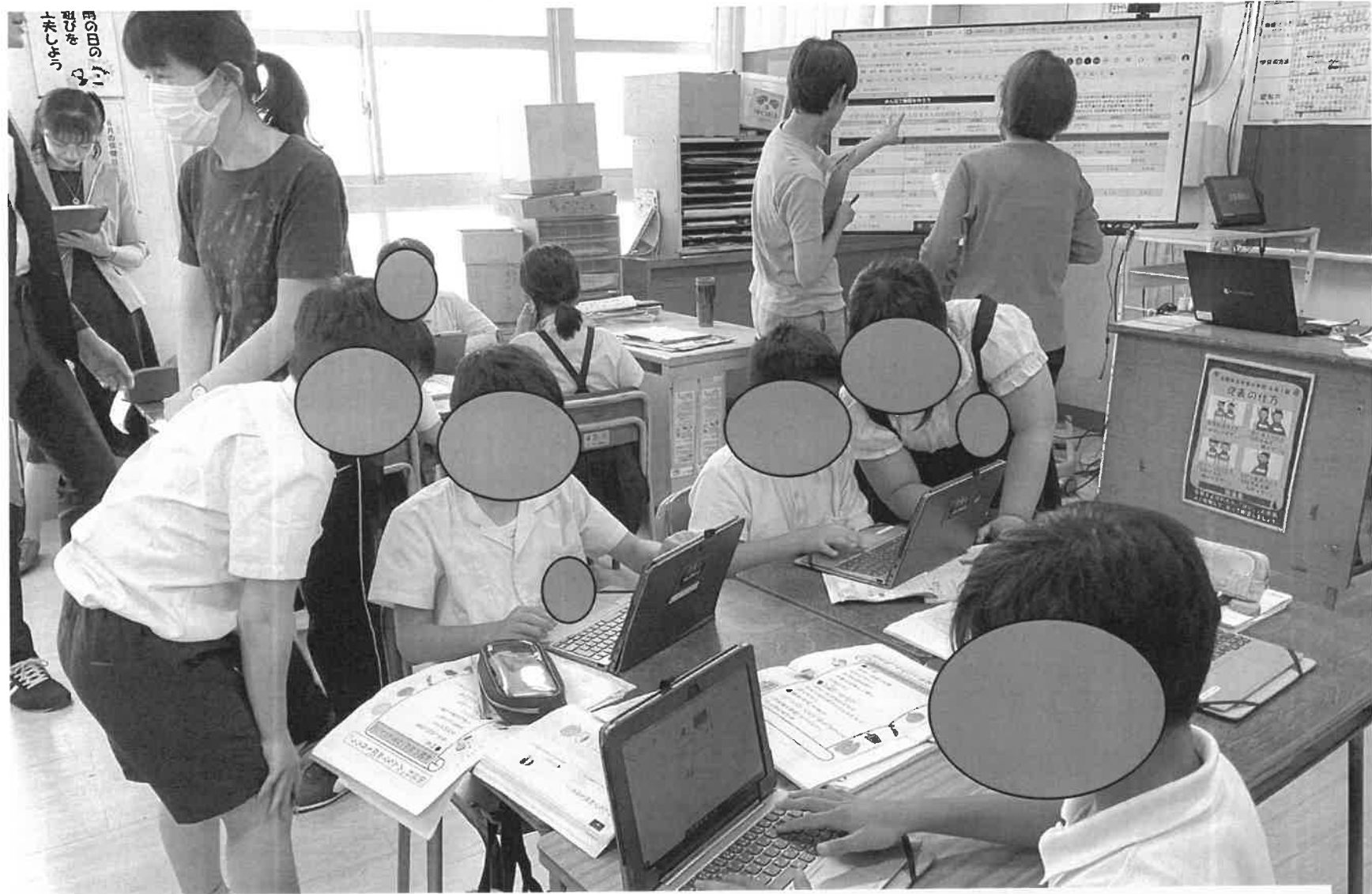
ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール 拡張機能 ヘルプ

①新聞名(題字)を考える ②置き場所を考える ③記事の分量を考える ④取材方法を考える
⑤アンケートを作る ⑥インタビューする ⑦集計する ⑧グラフを作る ⑨表を作る ⑩図表を作る
⑪記事を書く ⑫見出しを考える ⑬下書きする ⑭記事を書く ⑮見出しを書く
⑯写真をはる ⑰グラフをはる ⑱図表をはる ⑲表をはる ⑳記事を確認する ㉑記事を修正する

	3時間目	4時間目	5時間目	6時間目	7時間目	8時間目	
計画を立てる		新聞名を考える 何を書くか考える 時間があったら調べる	まだできていないことから調べる インタビュー・アンケート	アンケートの結果を確認する 写真を追加 写真を貼る	記事の下書きを書く 記事の分量を考える 記事を書く	記事を書く 新聞の仕上げ 記事の確認	できて いる!
5分	10分	15分	20分	25分	30分	35分	
インタビューする	インタビューする	インタビューする	インタビューする	インタビューする	まだ終わっていないことをやる		
計画を立てる		インタビューする			まだ終わっていないことをやる		
5分	10分	15分	20分	25分	30分		
計画を立てる							
5分	10分	15分	20分	25分	30分	35分	

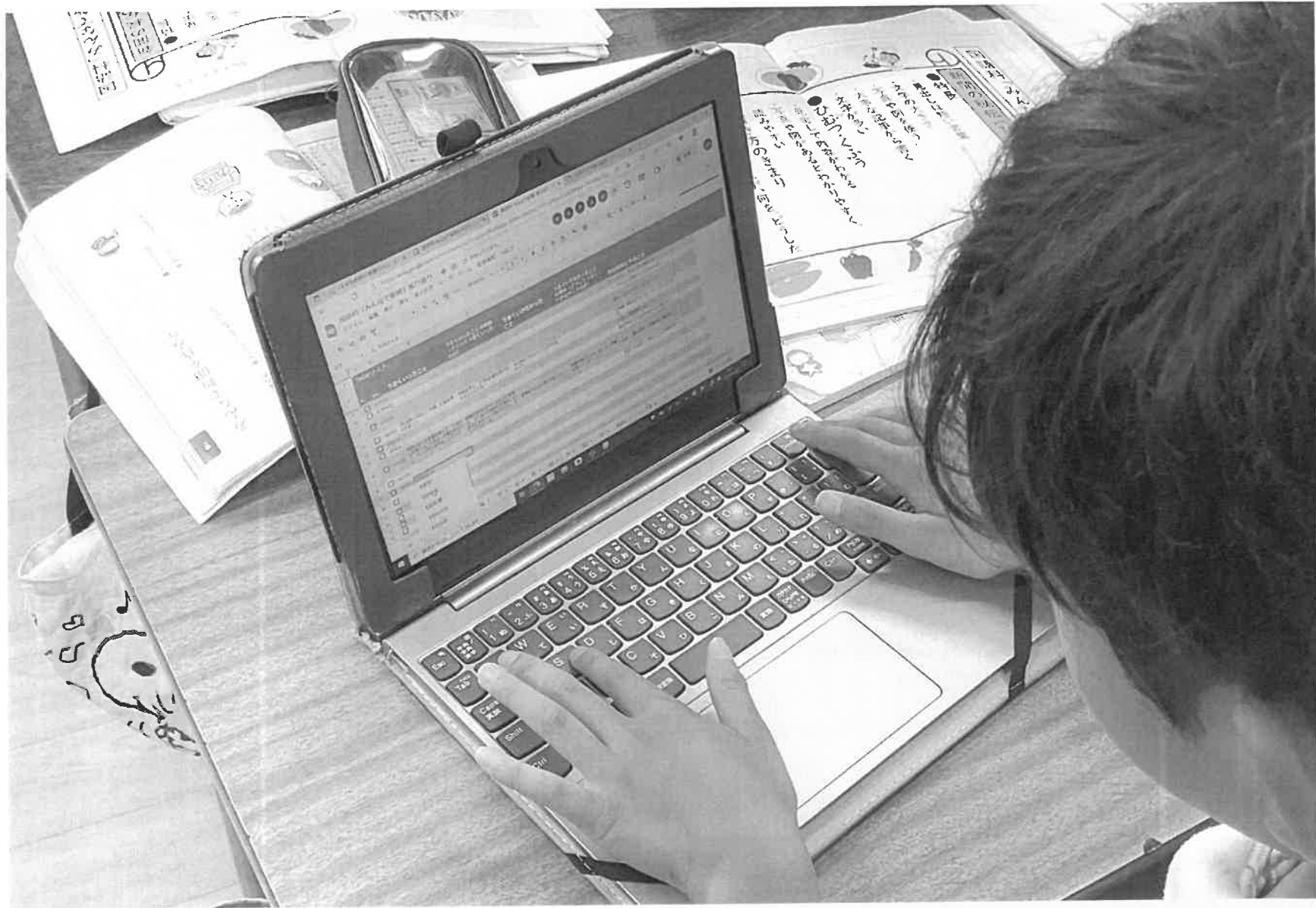
学習行動を調整する。

計画を基に自由進捗で学びながら学習行動を調整する



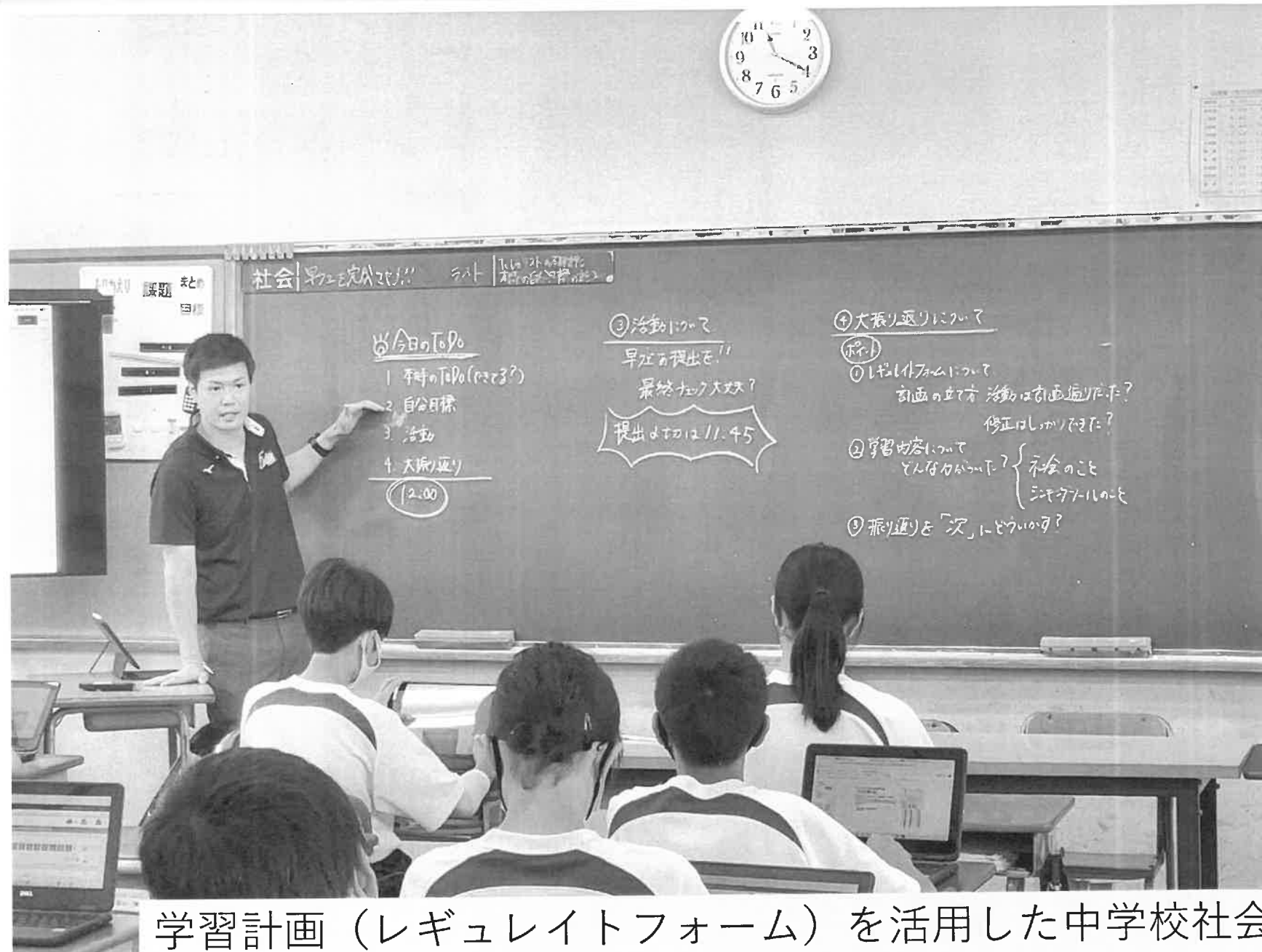
途中で学習行動や動機づけを確認し調節することで課題や目標に向けたイキイキとした学びへ

時間が来ると自分たちで振り返り



学習行動をメタ認知し，次時の動機づけを高める

中学校での実践



学習計画（レギュレイトフォーム）を活用した中学校社会科

小浜市立小浜第2中学校

単元	2-2-2ヨーロッパ州				
単元課題	ヨーロッパの地域統合について自分の意見を伝えられる。(ヨーロッパは地域統合を進めるべき? ディスカッション)				
単元目標	ヨーロッパの問題点などを知る				
単元課題達成へのTODOリスト (DOしたらチェック!)					
☒ ヨーロッパ統合 (=EC・EU誕生)		☒ 教科書で調べる		☒ まとめる、書く	
☒ 統合によって起こった課題		☒ 教科書やインターネットを使い		☒ まとめる、書く	
☒ 統合がもたらした良い影響		☒ 教科書		☒ まとめる、書く	
☒ いとも悪いとも言えない事実を調		☒ 教科書		☒ まとめる、書く	
☒ 今後もヨーロッパは統合を		☒ 今までの情報をまとめる		☒ 進めるべきかの理由を書く	
				☐ 先生からのTODO (教師からの指示や評価基準など)	
				☐ 自分の意見を根拠を持って言える?	
				☐ 地域統合の目的を言える?	
				☐	
				☐	
意識するポイント	学習計画	分	レギュレイトフォームの振り返り	社会の内容の振り返り	先生からの評価
1 本時のゴール 地域統合とは? 説明できる レギュレイトフォーム完成 本時の自分目標 早勉を頑張る	☐ 意識するポイントの確認 ☐ みんなで早勉 ☐ TODOリスト・計画作成 ☐ 振り返り	5 20 20 5 合計 50	A この時間で見えた課題・疑問 (解決したらチェック!) ☐ 先を見通した計画を立てる ☐ ボケーっとしない	評価の理由 早塾を頑張った	☒ もっと書こう ☐ 理由を書こう ☐ 何を学ぶことができた? ☐ 次の課題は何? ☐ 良い自己評価!
2 本時のゴール ヨーロッパ統合を攻略する 統合によっての課題を攻略する 本時の自分目標 レポートを終わらす	☐ 意識するポイントの確認 ☐ 教科書で本時のゴールの内容 ☐ ヨーロッパの統合やその課題 ☐ 先生に見てもらう ☐ 振り返り	5 5 5 合計 10	C この時間で見えた課題・疑問 (解決したらチェック!)	評価の理由 何もできなかった	☐ もっと書こう ☐ 理由を書こう ☐ 何を学ぶことができた? ☐ 次の課題は何? ☐ 良い自己評価!
3 本時のゴール いいとも悪いとも言えない事実を攻略する 本時の自分目標 レポート	☐ 意識するポイントの確認 ☐ 教科書で本時のゴールのこと ☐ いいとも悪いとも言えないこと ☐ 今まで調べたことから今後と ☐ 先生に見てもらう ☐ 振り返り	5 5 5 合計 15	S この時間で見えた課題・疑問 (解決したらチェック!)	評価の理由 レポートがいいとも悪いとも言えない状況までできたので良かったです。次からは統合を進めるべきかを考えて行きたいと思います。	☒ もっと書こう ☐ 理由を書こう ☐ 何を学ぶことができた? ☐ 次の課題は何? ☐ 良い自己評価!
6 本時のゴール ディスカッション大会で最終決断をする 本時の自分目標 ディスカッション大会で相手に進めさせるべきではないと認めさせる	☐ 意識するポイントの確認 ☐ ディスカッション大会 ☐ 最終決断 ☐ ちょっと解説 ☐ 振り返り	5 20 15 5 5 合計 50	S この時間で見えた課題・疑問 (解決したらチェック!)	評価の理由 ディスカッション大会で相手を納得させることもできたけど、できなかった人もあるので次はもっと理解を深めて頑張って認めさせたいです。	今日 ディスカッション大会をしました何人かはこちら側に引き込めていたけど、戦力は拮抗していたそうなのでどうなるか楽しみです。なんとか勝ちたいです。
この単元を通して・・・			次単元ではこうしていきたい! ポイント		
褒め! ポイントとその理由 今回はヨーロッパ州のことについて調べてみて、様々なことがわかりました。自分は2人ぐらいこちらがわに引き込めたので良かったと思います。他にもヨーロッパ州のいいことや悪いことがわかったりしたのもいいことだと思います。私は進めないべきに投票したけど、進めるべきの意見のほうが			次の単元では、必要な情報をしっかりと抜き取りたい。他にも自分以外の人はどうだろうなどと客観視したやり方をしたい。他の人の意見を取り入れたい。		
S			さらに! ポイントとその理由 更にポイントは、進めないべきに投票したことで、進めるべきの方の意見を少しおろそかにしていたかなと思います。戦うべきにはどちらの意見もわかるように進める、進めないの意見などを取っていったほうが良いと思うけど、私は進めないべきの情報し取っていませんでしたので、ディスカッション大会をするときに		

